

平成25年度 「下京区運営方針」 策定

この度、下京区役所では、平成25年度「下京区運営方針」をまとめました。区民の皆様と区役所の協働によるまちづくりを一層進めてまいります。

1 下京区基本計画に基づく
着実なまちづくりの推進
のために

2 区民の皆様の地域力を生
かした新しいまちづくり
のために

- 人と人との絆をつなぐ
- 「下京歩歩(ぼっぼ)塾」の推進
- 空き家を活用した地域力の向上
- 避難所運営マニュアルの作成支援
- 地域の魅力や資源をつなぐ
- 新たな賑わいを創出する下京区西部エリアの活性化
- 崇仁地区のまちづくり
- 菊浜学区のまちづくり
- 歴史と伝統を未来へつなぐ
- 下京地域力アップ(自治会加入促進)応援事業
- 下京・町衆倶楽部
- 区民が主役のまちづくりサポート事業の実施
- いいね!下京探偵団の実施
- 下京区活性化機運づくり事業の実施
- 下京区民まちづくり会議の開催
- 3 一層信頼される区役所づくりのために
- 迅速な対応と説明責任の徹底
- 防災訓練・研修の充実



※詳細は、下京区役所ホームページをご覧ください。
 地域力推進室
 ☎ 371-7164

下京 ALL STARS



田中博さん

下京区の各方面で活躍されている方々に仕事や下京への想いなどを伺う連載です。今回は、防犯パトロールを行うなど、地域の安心・安全のために積極的に活動されている下京防犯推進委員協議会永松支部長の田中さんにお話を伺いました。

Q 地域で取り組みを始めたきっかけは？
A 私が最初に取り組みを始めたわけではありません。この地域は繁華街を抱えているため、昔から安全や防犯に対する住民の皆さんの意識が高く、私はその想いや取り組み

Q 防犯カメラの導入の効果はありましたか？
A 下京警察署からはひたたくりなどの犯罪件数が、以前に比べて3割程度減少したと聞いています。また、犯罪捜査にも役立つことから、周辺も含めた広い範囲での安

Q 防犯パトロールは、住民の皆さんが安心して暮らしていると感じます。心・安全に寄与していると感じます。一方、河原町通や木屋町通が歩きやすくなったので、歩行者数や歩道の自転車の通行量が増えています。人と自転車の接触事故が心配されるようになってきたことが、新たな課題です。

Q 防犯パトロールは、以前から行われていたとお聞きしましたが？
A 防犯推進委員の皆さんを中心に、下京警察署の方にも参加いただいで、もう10年以上続けています。月1回程度、町内を45分ほどかけて一周します。その際には、町内会ごとに、下京区の補助を受けて作製したお揃いの提灯を持って歩きます。今ではこの提灯が活動に参加する皆さんの気持ちの一つにするシンボルのようなものになっています。

Q 防犯カメラの導入の導入の効果はありましたか？
A 京都市の防犯カメラ設置促進事業のモデル地区に手をあげました。最初は、反対する声もありましたが、画像の漏洩やプライバシーに配慮した独自の運用規定をしっかりと整備したこともあり、導入していきたくてという声が各町内から出てきています。

Q 防犯カメラの導入の導入の効果はありましたか？
A 私、まちなかでありながら鴨川や高瀬川などの自然にも恵まれたこのまちの雰囲気が好きです。もっと住みやすく安全なまちにするにはどうすればよいかを日々考えることが楽しみであり、最大の関心事ですね。これからも地域の安心・安全と美しい環境を守る活動を続けていきたく思います。

Q 最後に、お忙しい中で、日頃関心をお持ちのことや楽しんでいらっしゃることを教えてください。
A 私は、まちなかでありながら鴨川や高瀬川などの自然にも恵まれたこのまちの雰囲気が好きです。もっと住みやすく安全なまちにするにはどうすればよいかを日々考えることが楽しみであり、最大の関心事ですね。これからも地域の安心・安全と美しい環境を守る活動を続けていきたく思います。

ごみ減量の取り組みに関する助成制度

- ① コミュニティ回収登録団体募集
 対象 地域で自主的に古紙・古着・缶・びん等を回収する団体
 募集数 全市で300件
 助成内容 チラシの作成や回収等に必要の費用
 助成額 年間10,000円～15,000円(応募時期・回収品目により異なる)
- ② てんぷら油回収登録団体等募集
 対象 家庭から排出される使用済てんぷら油を定期的に回収する団体・個人
 募集数 全市で100件
 助成内容 チラシの作成や油の回収に必要な費用
- ③ 落ち葉等堆肥化活動団体募集
 対象 落ち葉等の堆肥化を行う概ね10世帯以上の市民団体
 募集数 全市で30件
 助成内容 チラシの作成や堆肥化活動に必要な費用
 助成額 上限50,000円
 申込み 区役所で配布の申込書で、①②は平成26年3月31日③は平成26年2月28日(必着)までに。いずれもその他要件・審査有
 ☎ 下京エコまちステーション (☎ 366-0186)

南部みどり管理事務所

地域の皆様には、多く「自転車・バイクの乗入禁止」など、一人ひとりが活動を行っていただき、厚くお礼申し上げます。南部みどり管理事務所が、地域の皆様の憩いの場所となりますよう、今後ともご協力をお願いします。

所在地 伏見区深草五反田町112
 ☎ 南部みどり管理事務所 (☎ 643-5405)

「天猫の糞を始めとするごみの持ち帰りの徹底」

めざせ! エコイベント

お祭りや学園祭などのイベントは、ごみが大量に発生するなど、環境に大きな負担を与えます。ごみの減量や参加者の環境意識の向上を図り、イベントの「エコ化」を進めるため、次の取り組みを行っています。

「京都市認定エコイベント」登録で「エコ化をPR!」

イベントのエコ化に取り組む主催者を応援するために「京都市認定エコイベント」登録制度を設けています。ノボリやロゴを使って、主催者の取り組みを参加者に分かりやすくアピールできます。

「リユース食器助成金制度」

イベントから出るごみを減らす「リユース食器」を広めるため、導入費用に対する助成制度を設けています。

※リユース食器とは、繰り返し何度でも使える食器のことです。

☎ 下京エコまちステーション (☎ 366-0186)

対象となるイベント	自治会・町内会、NPO、学校などの団体が、市内で開催し、リユース食器を使って100食以上の飲食品を提供するイベント ※京都市認定エコイベントへの登録が必要です。
助成内容	リユース食器導入費用の2分の1以内(上限10万円)
助成対象	リユース食器のレンタル費用のほか、コーディネーターの人件費、食器洗浄機などのレンタル費用(ただし、食器の破損や紛失に伴う補償金は対象外)
助成申請	申請受付は原則としてイベント開催日の2週間前まで
その他	リユース食器は、リース事業者からレンタルして使用

「エコバスツアー」参加団体募集

環境にやさしいライフスタイルについて考えるバスツアーへの参加団体を募集します。ごみ処理施設や再資源化施設等の見学を通じて、身近なごみ問題を見つめ直します。

対象 サークルや地域の団体、町内会など、環境に関心のあるグループ(営利法人を除く)。
見学施設 希望の施設を自由に組合せ可能です(要事前相談)。
 ①クリーンセンター(市内3カ所)、②資源リサイクルセンター(市内2ヶ所)、③横大路学園、④西部圧縮梱包施設、⑤廃食用油燃料化施設、⑥魚アラリサイクルセンター、⑦エコランド音羽の杜、⑧京エコロジーセンター他
 ※京エコロジーセンター以外(①～⑦)は土・日の見学不可。
費用 無料
定員 1組30名まで(要相談)
実施期間 平成26年3月31日(月)まで
 ☎ 下京エコまちステーション (☎ 366-0186)